

「地区連絡会議開催(笠置町)」

京都府 笠置町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	10人
○ 農地利用最適化推進委員	:	0人
○ 事務局職員	:	2人
○ (関係団体名)	:	
○ 市町村行政との連携状況	:	
事務局、現地推進役等で調整会議を開いている		



2 地区の特徴、状況、課題

- 笠置町の中央を東西に木津川が流れ、川の両側には急峻な山が迫っている。
- 木津川の南側をJR関西線が走り、笠置山は後醍醐天皇が挙兵、籠城した場所として知られている。
- 農地は、木津川の北側に走る国道163号と山裾の間に、带状に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 今回は、地域計画策定に向けて笠置町の最重要課題となっている、農地をどう守っていくかについて、最適化推進会議として農業会議の安本現地推進役に笠置町農業農村の今後の取組に関する提案をお話いただいた後に、意見交換を行った。
- 京力農場プラン策定時の話し合いでも出ていたが、笠置町では農業者だけで農地を守っていく事に限界があるため、行政や地域住民と協力した取り組みが必要との意見が出ており、また地域計画に向けて話し合いをしていきたい。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

最初にアンケートを実施。それを集約した後に報告し、地域の委員さんで集まって、地域毎の農地について年齢別に3色に分けて地図へ色塗りを実施した。その地図を見ながら地域の農業者の方と集まって、地域ごとや町としての課題について話し合いが実施され、今後の笠置町の農業について京力農場プランの実質化に向けた話し合いが行われた。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください